

2月 骨のズレからみる『^{ぜんそく}喘息』

喘息は、夜や早朝に呼吸が息苦しく、咳き込み、呼吸時にゼーゼー、ヒューヒューという喘鳴(ぜんめい)になるなどさまざまな症状があり、子供から高齢者まで、年齢に関係なく発作がおこります。喘息の発作は、季節の変わり目など、気温差のはげしいときや空気の乾燥、疲れているとき、風邪をひいたときなどに、夜間から早朝にかけておこりやすくなります。



「喘息」原因の多くは骨のズレ

※喘息の原因が内臓疾患などによる場合を除く

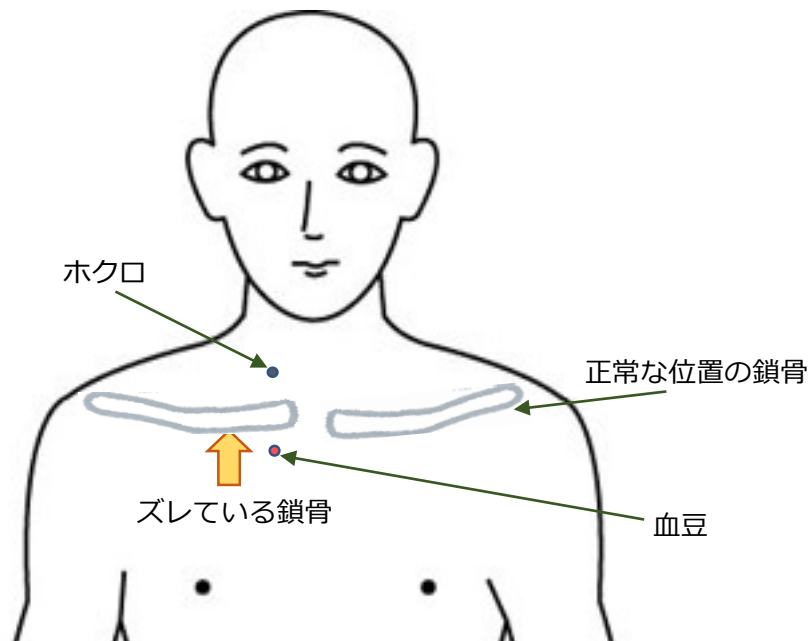
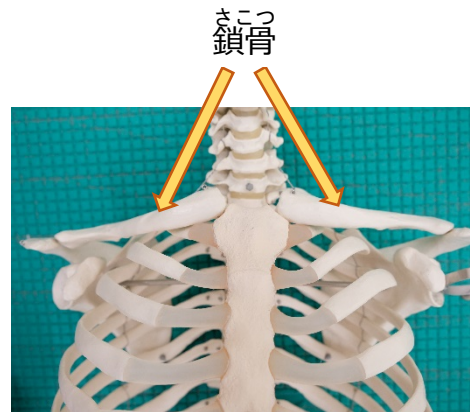
見た目やさわった感じで原因を探そう



まずはカラダを観察

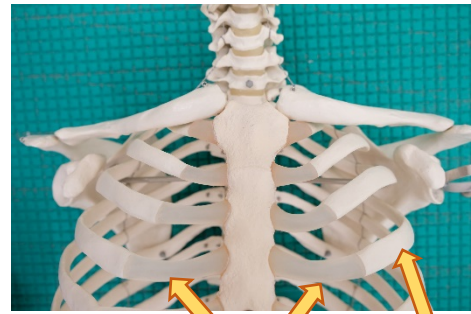
1 ^{さこつ}鎖骨のズレが原因の場合

- 左右鎖骨の高さが違う
- 鎖骨が前後になり大きさが違う
- 鎖骨の付け根にホクロや血豆がある
(ズレが長期間続く場合)
- 鎖骨と胸骨の付け根をさわると痛い

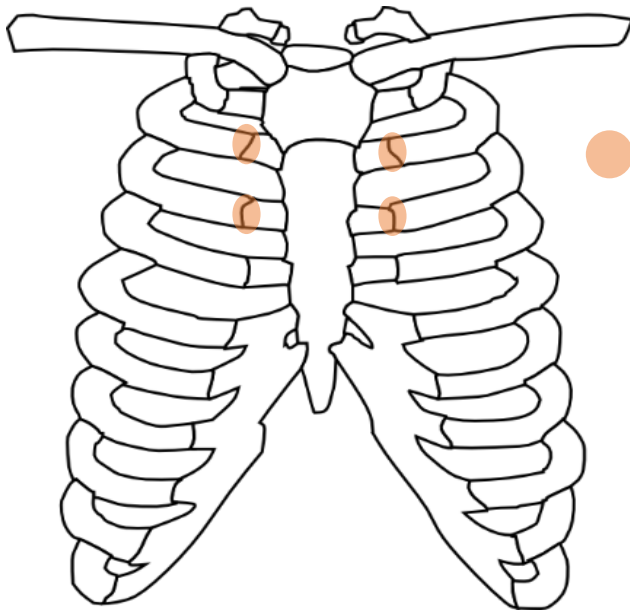


2 肋骨のズレが原因の場合

- 左右肋骨の高さが違う
- 手で胸をなでると、一方がデコボコしている
- 肋骨を直接なでると痛いところがある
- 胸にホクロや血豆がある
(ズレが長期間続く場合)



ろくなんこつ
肋軟骨
(透明な部分) ろっこつ
肋骨
(白い部分)



● 印の部分
肋骨と肋軟骨のつなぎ目にズレ

原因別の症状と治療方法

1 鎖骨のズレ

初期症状

- ・ のどに何か詰まった感じがする
- ・ のどに突っ張り感や張りがでる
- ・ カラ咳がでる
- ・ ズれている部分を手でさわると痛い

中期症状

- ・ 話をしようとするだけで、咳がでる
- ・ 腕を使う動作が多いと咳が出やすくなる
- ・ 呼吸が浅くなる

後期症状

- ・ 寝始め、寝起きに咳がでる
- ・ 風邪をひくと、咳がとまらない
- ・ 喘息の発作がおきる



治療方法

鎖骨はもろいので、腫れがある場合は、完全に腫れを取り除いてからゆっくり正常な位置にもどしていきます。

※何年も前から喘息の方は、通院期間も長くなります

2 肋骨のズレ

初期症状

- ・ 寝返り、腹に力を入れる、笑うなどで肋骨が痛い
- ・ 心臓のあたりがキュッと痛いことがある
- ・ 胸がジワジワ痛いことがある
- ・ 胸をさわると痛いところがある

中期症状

- ・ 大きく息を吸うと、咳がでることがある
- ・ 運動などをして体が温まると咳がでる
- ・ 咳をするとき肋骨に痛みがある

後期症状

- ・ 寝始め、寝起きに咳がでる
- ・ 風邪をひくと、咳がとまらない
- ・ 喘息の発作がおきる
- ・ 呼吸が浅くなる

治療方法

肋軟骨を正常な位置にゆっくりもどしていきます

※痛い期間が長期の場合、通院期間も長くなります

～ 注意事項 ～

膝関節のすべてのズレは、風呂で湯船につかりながら、マッサージやストレッチなどをすると、とても楽になったように感じますが、風呂上がりに腫れや痛みを誘発します。湯船につかりながら、マッサージやストレッチはしないでください。

～ 施術の流れ ～

患者様から症状を伺い、原因を調べて体の状態をご説明いたします。

その後、ご納得いただいてから施術いたします。また、施術後にも、どの部位を施術したのか説明いたします。患者様の症状によっては、張り返し（だるさ）が翌日以降に出る場合もあります。

患者様から質問があれば、その都度お答えし、次回の予約日についてお話しします。予約は受付にて空き状況を見ながら決定します。

何度か通院され、卒業が近くなったら、同じ症状で困らないように、ご自宅などで簡単に出来るストレッチをご説明します。